

まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：都市と産業分科会

開催日時：平成 21 年 11 月 7 日（金）17 時 00 分～17 時 35 分

開催場所：松戸商工会館 5 階大会議室

出席委員：岩橋秀高、鎗田弘子、高橋清、中臺弘志、藤田宗晴、三宅治美、
山下烈、横山元、丸田英二、越智章浩、宇野荒樹

欠席委員：尾崎順邦（敬称略）

会議内容

参加者から各分科会へのコメントをメンバーが確認した。

資料：発表を聞いてのコメント（都市と産業分科会へ）

以上

発表を聞いてのコメント（都市と産業分科会へ）

- ・ エゴ人間からエコ人間、良い表現ですね
- ・ エゴ人間からエコ人間へ、共感
- ・ エゴ人間から環境（エコロジー）人間へ、大賛成
- ・ お話を聴きながら、「素晴らしい未来」が待ち受けている期待が持てた
- ・ 新しい松戸をつくるという積極的な姿勢が、よく表れていました
- ・ 指標案が詳細に提案されていて、感心しました
- ・ さすが！時間をかけただけのことはある素晴らしい宣言文、指標案、役割です
- ・ 力強い発表で、中身と共にとってもすばらしかった
- ・ 難しい課題に取り組みられたのだということが伝わってくる発表でした
- ・ 全体を通じて、非常に良い発表、内容であると感じた。実現性が非常にあると思う
- ・ 「未来への変革エンジン」具体的な提案。全体を通じてメリハリのある発表がなされた
- ・ 変革エンジンを取り込むという発想に共感します
- ・ 21世紀の森は、都民に人気のある場所です。不本意ながら、市外の方々から子ども30円、大人80円入場料を取る
- ・ 市民の意識を「自立」へと向けようとしている役割の内容には、厳しいものもありますが、拍手を送ります
- ・ 要求型から自主自立型へ
- ・ 市民は自己利便の前に松戸市にとって何が良いか考えるのは、協働を推進する上で大切（ポイント）
- ・ 納税しきれず、物納された物品をネットで公開し、オークションにかけ、収入を得る
- ・ まつどの「ソフト化」を進めてみたいと思った
- ・ ソフト化（知識産業）は共感
- ・ 松戸市のソフト面のプロジェクトについては賛成
- ・ 行政の役割として、ソフト面の知恵を出す。これからの松戸市にとって、重要なキーワードだと思う。市民、地域が必要とする情報の提供や専門知識を持つ人をコーディネーターすることで、より連携のとれた市になれるのではないかと
- ・ 他の分野でも出ていたふるさと自慢をメインに、理念、産業等各分野の横串を通す
- ・ 政令都市には共感
- ・ 市民は行政に要求すればいい、やるのは行政という発想を捨てる、同感です。やってもらうのを待つのではなく、提案し、実現に協力する
- ・ 家庭ごみをできるだけ減らす。もう一步進んで、ごみのリサイクルを考える。プラスチックごみ等は油が取れるシステムも開発されている
- ・ ごみ削減の目標を掲げ、推進する

- ・ 歩道の整備は早急に実現してほしい（特に小学校周辺）
- ・ 「生活圈道路はバリアフリーの道」に共感します。老人の、道路上の「電動車椅子」の動きには、大変危険を感じます
- ・ 生活しやすい安全な街づくりは予算と時間を要するが、実現すれば豊かな生活の未来が開ける
- ・ 市民・行政連携が大切。共同シンクタンクも意義があると思う
- ・ まちづくりを推進するために、市民と行政の連携は大いに賛成
- ・ 市民会議。各界のメンバーを一同に集める（市長を中心に）
- ・ 農業と産業の振興
- ・ 中小企業の活性化
- ・ 指標として、住みたい人の数に賛成
- ・ 税収入のためにも活力向上。若い世代の転入を進める施策を積極的に実施
- ・ 市民満足度、住みたいと思う人の割合
- ・ 「計画の途中変更を！勇気を持って」の意味は？
- ・ 連携が大切。誰がどうやって連携していくのか、責任は誰がとるのか
- ・ 自動車道より自然保護への政策の舵を切る、に大賛成。市はぜひ取り上げてほしい
- ・ 「矢切高校を農業起業の情報発信センターに」は、おもしろい。
- ・ 今、休眠している農地をプロの農業集団（株式形式）に経営依頼をし、賃料をとる
- ・ 「農業に関心をもつ」まったくその通りと感じました
- ・ 農業へのサポート体制づくりに大賛成！地産地消のためのサポート
- ・ 地産地消、道の駅は、食の安全を考える上でも、大変重要。すぐにでも実践できそう！
- ・ 若者と熟年者の連携の仲立ちについて
- ・ 若者と熟練者の交流に共感
- ・ 若者の声に耳を傾ける、に賛成です
- ・ 若者の力を生かす、に共感
- ・ 若者を権威や実績にとらわれず登用、活用する行政
- ・ 「若者の意見にも価値を」の意見を活かし、新しい方向性を探したい
- ・ 「若者に魅力ある松戸」とてもすばらしい表現です
- ・ 若者活性化プロジェクトに期待したい
- ・ 若い人が松戸に根付く、松戸らしい地域産業を作り出してほしい
- ・ 若い力が大切なのに、委員の皆さんの年齢が高すぎる。「若者に魅力ある」は、若者のほうがよく知っているのではないのでしょうか
- ・ 自然を生かした公園を整備する、に賛成。21世紀の森のような大きなものでなく、小さいものを多くのところに
- ・ 「矢切～江戸川グリーンベルト」で川遊びと農遊びをコラボした遊び場を作り、都民の money を get する

- ・ 指標案の「マップ（危険な道）の作成数」には少し疑問。危険な道の解除数イコールバリアフリー整備数に入るのでは？
- ・ 地域の大学と連携
- ・ プロジェクトの具体性はすばらしいです。是非実現に向けてどう進められたらいいか、続けて審議したいものですね
- ・ 地域経済活性化への取組みが大切だと思います
- ・ 地域産業の活性化は市民を地元に戻す手法
- ・ 市民の憩いの場
- ・ 産学官民が継続的に研究してまちづくり
- ・ 課題ごとのプロジェクト、産学官民年代間プラス行政の縦割りを見直すことはとても共感しました。全ての施策に必要な考えと思います
- ・ 産学官民、年代間の連携、とてもいい提案だと思う。行政が積極的に推進することで、実現可能ではないか
- ・ 産学官民の連携プロジェクト作り
- ・ 産学官民の連携について、行政の方が賛同してくれたことは良かったと思います
- ・ 産学官民によるシンクタンク創設、期待大です
- ・ 産学官民、年代間が連携して若者が生き生きとした松戸を実現できれば、松戸の未来も明るいと思います
- ・ 力強い連携に共感した
- ・ 時間をかけて夢を実現する、に共感
- ・ 交通事故の件数を分析
- ・ プロジェクトチームの確立に伴い、市民の人材を生かすため、積極的に参画する形が進むと良いと思う
- ・ 人的資源を活用する具体的（案）を提言しては如何かと思う
- ・ 矢切の渡しの整備
- ・ 戸定邸を全国にアピール
- ・ 松戸の大きな資源の一つは「人材」。その力を十分に引き出し、生かしていく体制、あり方をしっかり検討していただきたい
- ・ ふるさと松戸の共有化も実現する方策に期待します
- ・ 「道の駅」できたらいいですね！
- ・ 若者の起業の支援は積極的に進めたい。学校教育にも起業化教育として、小中高に取り入れていただきたいです
- ・ 松戸の名物を作る。子どもも含め。おかし、手芸、野菜、人物分野毎に募集し、PRしていく
- ・ 河川の浄化、環境づくりへの参加
- ・ 河川の監視、管理、維持、ボランティアとの協働

- ・ 江戸川河川敷の新しい利用方法、ゴルフ場の見直し（？）
- ・ 親水の環境
- ・ 治水、供水を
- ・ 松戸の水道水は今とてもまずいです。もっともっとおいしくしてほしいと考えています
- ・ 災害時には、市水、県水とも、エリアを取り外し、市民に水を供給することになっている
- ・ 水事業を安定経営するために、新たな水使用（利用）を生み出す
- ・ 熟年者の連携を図る、組織づくり
- ・ 継続的に街づくりを推進する市民、行政の連携の仕組みを作る方法は大変すばらしい
- ・ 行政で出来ないことは市民の力で。市民の力でできることは市民でできるといいなと思います
- ・ 「縦割り行政を見直して」行政には、縦割り行政のよさを重視する向きが強い。「縦割り」への議論をもっと深めたほうがいい。それが市民と行政の仕組み作りになると思う
- ・ 自然との共存が重要で、将来いかに実践できるだろうか。楽しみである
- ・ 「安心してスムーズに移動」の指標に、路上駐車、違法駐輪の台数減も対象に
- ・ 絵に描いた餅に終了させたくない、に同感
- ・ 市民力、地域力が大切
- ・ 絵に描いた餅に終わらせたくない。できることから、に共感
- ・ 今までとは違った視点、方法で都市づくりをしていかなければならないという宣言文に賛成
- ・ 連携の仕組みづくりをいかにするか、やはりここでも中間支援組織、コーディネーターがいる
- ・ 市内の主な施設をめぐるコミュニティバスの実現を是非

以上